

果実の肥大は、前年よりやや遅れています。  
極早生、早生温州は仕上げ摘果及び樹上選果を行いましょう！

## 令和元年 8 月の気象

令和元年 8 月の半旬別の気象を表 1 に示した。平均気温は第 1～第 4 半旬が平年より 1℃以上高く推移し、第 5、第 6 半旬はほぼ平年並みであった。月平均気温は 27.1℃で、平年より 1.1℃、前年より 0.3℃高かった。

降水量は全体的に少なく、第 3 半旬を除く第 5 半旬まではほとんど降雨がなかった。第 6 半旬は 44mm とやや多かった。月合計は 72mm で平年の 50%、昨年 の 277%であった。

日照時間は第 1、第 2 半旬が平年比で 150%以上と多く、第 3、第 4 半旬はほぼ平年並みで、第 5 半旬以降は平年より少なかった。月合計は 229 時間で平年の 106%、前年の 90%であった。

表 1 令和元年 8 月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	27.6	26.0	28.1	0	21	0	54	36	54
2	27.7	26.1	26.0	0	27	10	58	36	22
3	28.0	26.2	27.7	25	25	1	34	35	41
4	27.4	26.0	23.8	0	22	14	32	35	42
5	26.1	25.9	27.7	3	19	1	21	35	41
6	25.9	25.7	27.6	44	30	0	30	40	55
平均/計	27.1	26.0	26.8	72	144	26	229	217	255

## 2 果実及び樹の生育

南房総市内の 2 か所の園地と暖地園芸研究所における温州ミカンの園全体の着果量は、早生温州、普通温州ともに前年より多く、表年の傾向である。8 月は降水量が少なかったため、水分ストレスがかかりやすい気象条件であった。9 月 3 日における調査園の果実生育状況を表 2 に示した。横径は「日南 1 号」が 5.8cm、「興津早生」、「大津 4 号」及び「青島温州」が 3 地区の平均で見るとそれぞれ 4.6cm、5.0cm、5.0cm であった。平年と比較すると「興津早生」は 93%と小さかったが、「日南 1 号」、「大津 4 号」及び「青島温州」は平年並みであった。前年と比較すると「日南 1 号」は同程度であったが、「興津早生」は 88%、「大津 4 号」は 89%、「青島温州」は 92%と小さかった。

縦径は、「日南 1 号」が 4.7cm、「興津早生」、「大津 4 号」及び「青島温州」が 3 地区の平均で見るとそれぞれ 3.9cm、4.0cm、4.1cm であった。平年と比較すると及び「興津早生」は 93%と小さかったが、「日南 1 号」、「大津 4 号」及び「青島温州」は平年並みであった。前年と比較すると「日南 1 号」は同程度であったが、「興津早生」は 88%、「大津 4 号」は 92%、「青島温州」は 94%と小さかった。

果形指数は、「日南1号」が1.2、「興津早生」、「大津4号」及び「青島温州」が3地区の平均でみるとそれぞれ1.2、1.3、1.2であった。平年及び前年と同程度であった。

表2 果実の生育（令和元年9月3日）

品 種	調査地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
日南1号	暖地園研	5.8	5.8	5.8	4.7	4.7	4.6	1.2	1.2	1.3
	三芳地区	4.6	4.9	5.2	3.9	4.2	4.4	1.2	1.2	1.2
	千倉地区	4.6	5.0	5.0	3.8	4.2	4.1	1.2	1.2	1.2
	暖地園研	4.8	5.0	5.7	4.1	4.3	4.8	1.2	1.2	1.2
	平 均	4.6	5.0	5.3	3.9	4.2	4.4	1.2	1.2	1.2
大津4号	三芳地区	5.0	5.0	5.7	4.0	4.1	4.5	1.2	1.2	1.3
	千倉地区	4.9	5.2	5.5	3.9	4.1	4.2	1.2	1.3	1.3
	暖地園研	5.2	5.1	5.8	4.0	4.0	4.4	1.3	1.3	1.3
	平 均	5.0	5.1	5.7	4.0	4.0	4.3	1.3	1.3	1.3
青島温州	三芳地区	4.9	5.0	5.7	4.1	4.1	4.6	1.2	1.2	1.2
	千倉地区	4.9	5.0	5.1	4.1	4.1	4.0	1.2	1.2	1.3
	暖地園研	5.2	5.1	5.6	4.1	4.1	4.4	1.3	1.2	1.3
	平 均	5.0	5.0	5.5	4.1	4.1	4.4	1.2	1.2	1.3

各地点の各品種の値は40果の平均 ただし、鳥害、落果、台風害により調査果実を変更した樹がある  
果形指数は、横径/縦径

## 9～10月の栽培管理

### (1) 摘果

極早生、早生温州について仕上げ摘果及び樹上選果を行う。傷果、日焼け果、腰高果、外周部の大玉果、内裾部の小玉果等を取り除き、適正葉果比（早生温州では25葉に1果）に近づけるようにする。

普通温州については、着果過多により樹勢が低下している場合や小玉になっている場合のみ粗摘果をする。その場合、小玉果、傷果、奇形果、果梗が太い果実、上向きの大玉果などを摘果する。

### (2) 主な害虫の防除

#### 1) ミカンサビダニ

高温乾燥条件となる9月まで果実を加害する。被害が拡大する恐れがあるため、果実1～2個の被害を見たら直ちに防除する。

#### 2) ミカンハダニ

9月から発生が増加し、果実や葉を加害する。寄生葉率が30%以上になった時点で速やかに防除を行う。

※極早生温州等、収穫の早い品種については農薬の使用から収穫までの日数に注意をする。

※農薬の登録内容は変更になる場合があるため、農薬使用の際は最新情報を確認する。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>